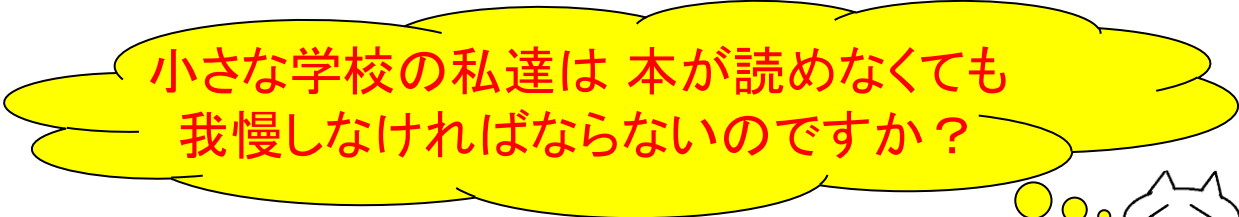


# 提言

1. 国は1人1台の端末環境整備に合わせて直接、全国一律、全ての小中学校に5万点の読み放題の電子図書館サービスを提供する。
2. サービス利用料は、全額国の負担とする。
3. 国は、学校電子図書館の機能と学校司書の支援策を答申する委員会を設置する。

小さな学校の私達は本が読めなくても  
我慢しなければならないのですか？



## 学校電子図書館が解決する

### 学校図書館図書標準 文部科学省

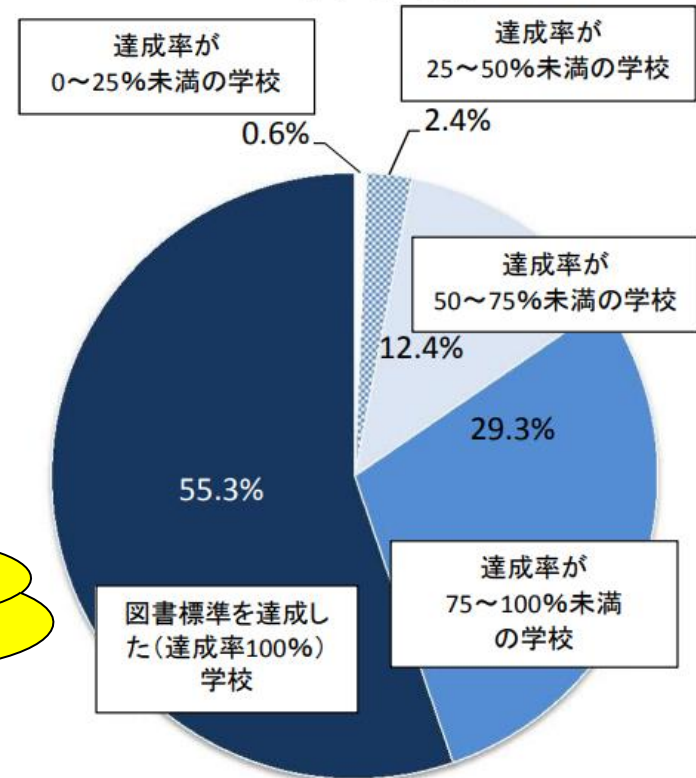
#### ア 小学校

学級数	蔵書冊数
1	2,400
2	3,000
3~6	$3,000 + 520 \times (\text{学級数} - 2)$
7~12	$5,080 + 480 \times (\text{学級数} - 6)$
13~18	$7,960 + 400 \times (\text{学級数} - 12)$
19~30	$10,360 + 200 \times (\text{学級数} - 18)$
31~	$12,760 + 120 \times (\text{学級数} - 30)$

#### イ 中学校

学級数	蔵書冊数
1~2	4,800
3~6	$4,800 + 640 \times (\text{学級数} - 2)$
7~12	$7,360 + 560 \times (\text{学級数} - 6)$
13~18	$10,720 + 480 \times (\text{学級数} - 12)$
19~30	$13,600 + 320 \times (\text{学級数} - 18)$
31~	$17,440 + 160 \times (\text{学級数} - 30)$

### 【中学校】



教科書はデジタルになったのに、  
リファアされる図書資料は紙の本？





# 蔵書購入から**利用料**への変換

全国一律、小学校20,095校、中学校10,325校の全てに同時アクセス無制限の5万点の読み放題の電子図書館サービスが実現できれば、地域格差は解消される。

電子の場合、スペースも不要。全国に1つのクラウド電子図書館があれば良い。

# 学校図書館関係の地方財政措置

各自治体

公共事業等

図書 新聞 学校司書

各自治体の予算に上乗せした地方交付税措置で推進しようとしても、一般財源となるため、算定している **6** 割ほどしか実際に教育に使われていない

**紙の本の学校図書館は、各自治体の予算に上乘せした地方交付税措置により学校図書館図書標準を達成しようとしてきたが、いまだに達成できていない。**

**小学校20,095校、中学校10,325校　ここに同時アクセス無制限の5万点の電子図書館を導入する。**

**1人1台の端末環境整備に合わせて緊急に行うには、各自治体の教育委員会まかせではなく、すなわち地方交付税措置ではなく文科省自身が直接、全国一律、全ての小中学校に電子図書館サービスを提供するべきである。**

# 学校電子図書館に関する議論

1. 出版社からの購入価格
  - ・アドバンス支払い＋アクセス従量
  - ・ジャンル別の価格
  - ・高度な本ほど、読まれない問題
2. 学校電子図書館の機能と中身
3. 大学の学校司書モデルカリキュラム
4. 学校司書への支援策